

『当院で胸腰椎手術を受けられた患者さんへ』

[研究名]

腹臥位胸腰椎手術における温風式加温装置の新ブランケットの有用性の検討

[研究責任者]

香川県立中央病院 麻酔科 部長 平崎盟人

[研究分担者]

香川県立中央病院 手術室 看護師長 葉佐真紀子

香川県立中央病院 手術室 主任看護師 酒井香余

香川県立中央病院 手術室 主任看護師 赤松愛弓

[研究の目的]

当院では、全身麻酔と硬膜外麻酔の全手術症例に対し、手術中の体温低下の防止のために温風式加温装置を使用し、体温管理を行っています。2016年4月から2020年3月までは、手術の傷より以下の下半身のみを加温するアッパータイプブランケット（以下、旧ブランケット）を使用していましたが、加温面積が小さく、手術中の体温の上昇が見込めなかったため、術中に体温が低下する症例が多くありました。そのため、術中の体温管理の方法を検討し、2020年4月以降、手術の傷以外の全身を覆えるブランケット（以下、新ブランケット）を取り入れて加温を開始しました。今回は、旧ブランケットと新ブランケットを使用した患者さんの体温変化を比較し、新ブランケットの有用性について検討します。

[研究期間]

令和6年3月11日臨床研究専門委員会承認後～令和6年10月19日 ※学会発表日

[研究の対象・方法]

平成28年4月1日～令和4年12月31日までに胸腰椎手術を受けられた患者さんの診療情報をもとに年齢、性別、術式、手術時間、出血量、手術中に使用した麻酔薬、周術期患者情報システム（ORSYS.philips）から膀胱温を調べて、新旧ブランケットの手術前と手術後の体温の変化から新ブランケットの有用性について過去にさかのぼって検討します。

[個人情報 病歴、既往歴の保護]

診療情報を利用する際には、個人情報との照らし合わせが必要になることがあります。ただし、個人情報は（誰のものであるか特定できないようにする）して取り扱いますので、個人情報が外部に漏れることはありません。

[患者さんから得た情報の保存・保管について]

患者さんから得た情報は本研究以外には一切使いません。研究終了後5年間厳重に保存し、保存期

間が過ぎたら、匿名化した状態で適切に破棄します。

[この臨床研究の成果を公表する際における、患者さんの個人情報の取扱いについて]

この臨床研究の成果を、学会などでの発表や医学誌への投稿などを通じて公表することがあります。そのような場合においても、この臨床研究に参加いただいた患者さんの個人が特定される情報は含まれておりませんので、個人が特定されることは一切ありません。

[費用の負担]

通常の保険診療の範囲内で実施いたします。本研究に関する患者さんの費用負担は一切ありません。

[健康被害が発生した場合の補償について]

過去の診療情報を用いた研究ですので、患者さんご自身に健康被害は生じません。

[利益相反]

利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じません。

[自由意思による参加、拒否および撤回]

本研究への情報提供は患者さんの自由意思によりますが、原則として、不同意の意思表示がない場合には同意があったものとみなし、情報等を研究に使用させていただきます。不同意や同意撤回の場合には、いつでも研究責任者に申し出てください。情報は速やかに破棄いたします。ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、完全に匿名化され個人が特定できない場合などには、破棄できないこともあります。

なお、本研究に不同意の場合であっても、当院での治療に一切不利益を受けることはありません。

[本研究に関する問い合わせ先]

本研究に関し、研究の方法に関する資料の閲覧、疑問、苦情などある際には、下記までご連絡ください。

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院 麻酔科 部長 平崎盟人 ※研究責任者

手術室 看護師長 葉佐真紀子

手術室 主任看護師 酒井香余 ※研究実施者

手術室 主任看護師 赤松愛弓 ※研究実施者

電話 087-811-3333 (代表)